

＜第二部＞ 1席 国土交通大臣賞 「笑いをさそうへソ踊り」 荻田 貞子さん



今まで、賞にまったく縁のなかった私ですが、この度思いもよらず大きな賞を戴き喜びもひとしおです。写真が好きで十数年の間ただひたむきにかメラに向き合ってきたごほ一びを下さったものと、水越先生はじめ審査員の諸先生に感謝しております。今回の作品の「富良野のへそ祭り」は誰もが目にしている有名なお祭りです。光や色彩に



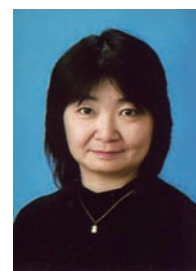
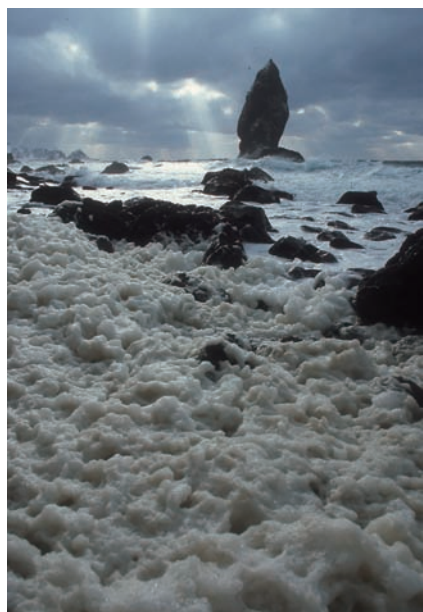
あふれる街並み、踊り手たちや、見物人の賑わい、ざわめき、踊りの面白さなど、写真に表現できたかと思えました。

ストロボの光量やシャッタースピードに心を配りながら写した中の一枚です。少しでもその思いが伝われば幸いです。

水越先生が「道展によせて」のメッセージのなかに、「撮影意図が明解に伝わってきて作者のメッセージが写真から読み取れる事が必要」と書かれていました。被写体と向き合ったとき、この言葉を思いだしながら、自分の思いを伝える事のできる写真を目指したいと考えております。

＜第三部＞ 2席 道新文化事業社賞

「波の華」 奈良 美弥子さん



2席の知らせを受け取ったのは、糠平湖で一人防寒シートにくるまり、星の撮影をしている時でした。ここしばらくあまり良い成績を取れず、もう写真はやめてしまおうかと落胆していた時に励まして下さった写友や諸先輩の顔が無数の星に重なり、声をたてて泣いてしまいました。昨年は「写真は自分一人だけで撮っているのではない」と改めて思った一年でした。

日頃ご指導下さいます諸先生方並びに仲間達に感謝申し上げます。

お正月の積丹詣では写真仲間との年間行事の一つでした。

風で飛ばされた波の華がレンズに着かぬ様、仲間できいろいろと工夫しながら撮影した思い出の一枚です。改めてその時撮影したポジを眺めていると、一枚だけ波の華に光が差し、光芒もしっかりと出ていて日本海の荒々しさを感じるコマがありました。好きな写真、思い出の写真で賞を頂けて幸せに思っております。

＜第三部＞ 2席 富士フィルム賞

「ひっそりと咲く」 武田 礼子さん



大変地味な写真なので、入賞できて驚いています。遠路はるばる出掛けた”クリン草の里”津別で撮影しました。丁度ピーク時でしたので美しく咲き誇っていましたが川べりに咲く可憐なクリン草に目がとまりました。ローアングルで草むらに顔を入れて、4~5枚写しました。私の大好きなお花の写真で2席を頂きまして運が良かったと思っております。

例会で諸先生方の熱心なご指導を受けさらに会員の皆様の作品を拝見させて頂き、これからも感謝の念を持って、続けていきたいと思っております。

